

第 31 回横浜環境活動賞表彰式
横浜環境活動賞審査委員会 戸川委員長 講評

皆様、こんにちは。横浜環境活動賞審査委員会 委員長を務めさせていただいております戸川と申します。このたびは「横浜環境活動賞」を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

大賞受賞者の皆様について、僭越ながら講評させていただきます。

まずは、市民の部でございます。大賞を受賞されました「横浜メダカの会」様、おめでとうございます。

会長様からもありましたが、横浜固有のメダカの保存、本当に難しいところに取り組んでいただいて、平成8年から約30年間にわたり活動されており、活動や調査を着実に実行されている点や、横浜市内2拠点の動物園や企業との連携が多様であることから今回その点を大きく評価させていただきました。今後とも、更なる活動の発展を期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、企業の部でございます。大賞を受賞されました「ハーチ株式会社 Circular Yokohama」様、おめでとうございます。

横浜市内のサーキュラーエコノミーを加速するためのプラットフォームを設置、様々なステークホルダー様とのパートナーシップの構築というお話を伺いましたので心強いなと思っております。こどもたちなどに講座等を実施されているということで循環型経済について学ぶ機会は今後非常に重要だと考えておりますので高く評価しました。今後とも、事業活動や地域活動を通じて、横浜の環境活動にご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。

児童・生徒・学生の部につきましては、今回は残念ながら大賞受賞者はおりませんでしたが、次世代を担う若い方々の活躍を今後とも期待したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

続いて、生物多様性特別賞でございます。「AGC株式会社 AGC横浜テクニカルセンター」様、おめでとうございます。

会社の敷地内に自生しているランや在来種の生態についての保全活動だけでなくその記録なども非常に精密に記録されている点や、使用済みガラスの回収や再利用技術の開発など自社の強みを活かした生物多様性保全を行って

いる点を我々審査員一同高く評価しました。

生物多様性の保全を拡げていくためには、他の企業や他の活動への拡がり
が大切ですので、今後とも発信を続けていただきたいと思いますので、
よろしくお願いいたします。

今回もすばらしい活動を審査させていただきありがとうございました。す
べての皆様の講評をお伝えすることが出来ずに大変申しわけなく、心苦しく
思っているところではございますが、今回の受賞を機に、これからもぜひエネ
ルギッシュな活動を継続いただき、さらなるステップアップをしていただき
たいと思っております。

さきほど、株式会社 kitafuku 様とハーチ株式会社様とのコラボが実現した
とのすごく嬉しいニュースがありました。審査員一同、31 回の受賞者の皆様
それぞれの方がコラボすることで、よりいっそう活動のステージや活躍の場
が広がることを祈念しておりますので皆様、これからもよろしくお願いいたします。

皆様、本日は本当におめでとうございます。皆様のこれからの活躍を期待
し、横浜環境活動賞審査委員会からの講評とさせていただきます。おめでとう
ございました。